

光赤天連シンポジウム

- テーマ「2030年代を見据えて光赤天連のあり方を考える」
- 日時：2019年9月24日(火)13:00-26日(木)16:00(予定)
- 場所：国立天文台三鷹 すばる棟大セミナー室
- ※TV会議、zoomでの参加も可の予定。
- 暫定プログラム（招待講演＋議論）
- セッション1：イントロダクション
 - ✓ 宇宙科学・探査ロードマップと今後の宇宙科学のすすめ方について：山田亨
 - ✓ すばる及びTMTの現状(+議論)：岩田生、臼田知史
 - ✓ SPICAについて：山村一誠
 - ✓ 小型JASMINEについて：郷田直輝
- ※大学望遠鏡についての発表(質疑込み10分程度の予定)はまだ受け付けています。<https://forms.gle/BF6GX8wrDWFjZQ838>からお申し込みください。

- ▶ セッション2：2030年代に向けた光赤外コミュニティーの戦略
 - ✓ 「2030年代将来計画検討ワーキンググループ」検討結果報告：大内正己（WG代表）
 - ✓ 国内外の宇宙科学探査ミッションの現状と将来へのビジョン：山田亨
 - ✓ 議論
 - 若手はどうしたいか
 - 我々は何を知りたいか
 - 世界の大型計画への参画
 - 日本独自の計画の立案
 - どうやって実現していくか（お金・人的リソースのつぎ込み方、人材育成との関係）
- ▶ セッション3：光赤外分野と近接分野の将来計画決定の枠組み
 - ✓ 今後の光赤天連のこれまでと今後のあり方：和田武彦
 - ✓ X線分野の将来計画とその策定の枠組み：田中孝明
 - ✓ 電波分野の将来計画とその策定の枠組み：岡朋治
 - ✓ 太陽分野の将来計画とその策定の枠組：横山央明
 - ✓ 惑星分野の将来計画とその策定の枠組：倉本圭
 - ✓ 議論
 - 2030WGの継続についての議論：moderator 左近樹
 - 光赤天連のミッション再定義：moderator 和田武彦